

# 地域の新たなシンボルに 上阿井新大橋渡初め式

## 主要地方道掛合上阿井線 上阿井工区竣工

主要地方道掛合上阿井線改良工事の上阿井工区のうち、未 completion だった上阿井新大橋を含む二百メートルの工事が完成し、これを記念した「上阿井新大橋渡初め式」が、九月十七日、大橋西詰交差点で行われました。



竣工を祝い、渡初めを行う関係者

この区間は、雲南市掛合町地内国道五四号から上阿井地内国道四三二号に至る、中山間地域を東西に結ぶ重要な幹線道路として、平成二年に着工し、総延長約三・五キロ、総事業費約三十四・六億円を掛け整備しました。

この日の式典には、雲南県係者や、多くの住民が出席し、安全祈願の神事などが行われました。式典を主催した阿井地区自治会長会を代表し、山根義人

会長から、「この工事の完了により、各方面へのアクセス向上はもとより、通学児童等の歩行空間も確保でき安全性が大きく向上した。また、上阿井新大橋の完成で、地域の新たなシンボルが誕生した」と完成の喜びを込めたあいさつがありました。

関係者によるテープカットの後、神職を先頭に、関係者や多くの住民が上阿井新大橋の渡初めを行い、完成を祝いました。

また、アトラクションとして阿井保育所園児二十二人が可愛らしい「きりん太鼓」を披露し、完成に花を添えました。

### 【事業概要】

総事業費	約34.6億円
事業延長	約3,500m
幅員	車道:3.25m × 2車線 歩道:2.50m
上阿井新大橋 総事業費 約2億円 工事延長 約46m	

先の大戦で亡くなられた戦没者の冥福を祈る「奥出雲町戦没者追悼式」が、町と社会福祉協議会が主催し、九月十一日、横田コミュニティセンターで開催されました。

式典には、各地区の遺族会会員など約二百人が出席し、八百九十三柱の御霊に追悼の意を送り、一分間の黙禱や霊前への献花を行い、「ご冥福を祈りました。

井上町長から、「先の大戦から学んだ教訓を心に深く刻み、世界の恒久平和確立と、町のさらなる発展を誓います」と式辞がありました。

また、遺族を代表して鳥上地区遺族会の矢部光敏さんから、「戦争の悲惨な体験から得た貴重な教訓を肝に銘じ、人

## 恒久の平和を願って 奥出雲町戦没者追悼式



追悼式の様子



追悼の言葉を述べる矢部光敏さん

が人を殺しあうという愚かな行為の無い平和な世界を築くことが遺族の使命であると後世に伝えたい」と追悼の言葉を述べられました。

このように恒久平和を願う一方で、世界各地では今もなお戦争が続き、数多くの貴い命が失われています。

戦争の悲惨さ、平和の貴さをあらためて認識し、後世に伝え、郷土の発展に努めていかなければなりません。

## ご長寿を祝い 記念品を贈呈

今年百歳を迎えるご長寿の方を祝おうと、井上町長が自宅や施設を訪問し、内閣総理大臣からの祝詞と銀盃、町からの記念品を贈呈しました。

井上町長から「これからも体に気を付けて、長生きをしてください」と声をかけられ、皆さん笑顔で記念品等を受け取られました。



ご家族と一緒に祝い。松浦ツネノさん(左から三番目)

### 百歳のお祝いプレゼント

- 楠 カヨさん(稲原)
- 野津チリノさん(大馬木)
- 松浦ツネノさん(大馬木)
- 景山 優子さん(上阿井)
- 和泉マサヨさん(上阿井)
- 田部マツヨさん(下阿井)
- 田中ヨシノさん(三沢)
- 和久利ヨシイさん(三所)

## 秋空のもと 一味同心塾で稲刈り体験

料理研究家・中村成子さんが館長を務める阿井の「一味同心塾」で九月二十五日、春の田植えに続く、稲刈り体験が行われました。

この日は、「米づくり委員会」のメンバーや県外からの参加者など四十人が作業にあたり、広さ約三十畝の田んぼに入ると、黄金色に色づいた無農薬栽培のコシヒカリを手刈りとバインダーで刈り取りました。

その後、今ではあまり見られなくなった七段の八デを組み上げ、手際良く稲束を掛けていきました。

当日は、それまでの真夏日から一転、秋の涼風が吹く中で作業を行い、参加者は爽やかな汗を流しました。

この昔ながらの安心、安全な米づくりは、交流人口の増加や、仁多米ブランドのイメージアップに大きく寄与しています。



手刈りをする参加者

## 県立大短大生46人 町内で地域探検フィールドワーク

九月二十一日から二十三日の三日間、鳥根県立大学短期大学の学生四十六人が奥出雲町を訪れ、「地域探検学」と称した奥出雲町フィールドワークを行いました。

これは、地域住民との交流や様々な体験を通じて、地域の暮らしを肌で感じ、生きる力と人間の生き方について学ぶことを目的に行われ、平成十五年から始まり、今年で八年目となります。

訪れた学生は、町内の伝承農家を訪問したり、日刀保たたらの木原明村下から、たたらや伝統文化についての話を聞いたほか、二日目は、川西そば体験道場で、全員がそば打ちを体験しました。

このそば打ち体験では、ほ



初めてのそば打ちを体験する学生たち

も、そば粉をこねることから盛り付けまでを行いました。

参加した学生たちは、三日間の活動を通じて、各分野における地域での暮らしを学び、肌で感じていました。